

棚田学会 第26回談話会

棚田の保全と中山間地域の活性化

日時 2013年12月14日(土) 13:30～17:00 (受付 13:00より)

場所 早稲田大学早稲田キャンパス 16号館 501号室 (裏面会場案内参照)

講演① 棚田と都市農村交流

講演者 志田 麻由子 氏(農林水産省農村振興局都市農村交流課課長補佐)



1972年 東京都生まれ
1995年 東京農工大学農学部環境・資源学科卒業、
同年農林水産省入省。
2013年4月より現職。
都市農村交流の一環であるグリーン・ツーリズムを担当

講演の概要

農林水産省がグリーン・ツーリズムを推進してから20年が経過しました。これまでの間、全国各地で多様な取組が展開されており、グリーン・ツーリズム関連施設の数や、農家民宿への宿泊数は増加の一途をたどっています。

近年、グリーン・ツーリズムの推進は、農村振興だけでなく、地域経済の成長や観光振興の施策としても重要な位置づけとなっています。

本講演では、グリーン・ツーリズムや都市農村交流をめぐる状況について情報提供し、棚田を活用した都市農村交流について意見交換ができればと考えています。

講演② よそ者・若者たちの棚田へのまなざし ～社会調査実習の現場から～

講演者 堀田 恭子 氏(立正大学准教授)



1965年生まれ
1996年 法政大学大学院社会科学部研究科社会学専攻博士課程修了。
新漏水俣病問題の社会学的研究で博士(社会学)取得
1996年～2000年 長野県自然保護研究所技師、
2000年～2006年 長崎大学環境科学部助教授、
2006年より現職、
木村和弘先生に姨捨棚田に誘われ、棚田に魅入られて現在にいたる。
棚田保全に学生を誘う一方、食を中心とした公害問題研究も継続中。

講演の概要

社会調査士という資格取得のため、本大学社会学科3年生は「社会調査実習」を履修します。担当教員(毎年5クラス開講)により調査地とその内容はさまざまですが、私自身は2010年から「棚田」を調査地としています。「棚田の何を知りたいか」から始まり「誰に会ったらよいか」「どのように会ったらよいか」など、すべて学生たちが主体的に調査企画を練り、事前勉強をし、質問項目を考え、依頼状を書き、アポイントメントをとります。夏休みに現地を対象者に会い、秋にテープおこしなど調査結果の整理とともに中間報告会への準備をし、年度末に報告書を完成させます。

5月の田植え作業で、はじめて棚田を見て触れたという学生たちは、「棚田保全の是非」(2010年)、「棚田の魅力と後継者」(2012年)というテーマをそれぞれ設定しました。今回は、そんなよそ者・若者たちがどのような棚田調査をしてきたのかを紹介しつつ、さらにアレンジ・深化させ、「まなざし」「コモンズ」「制度構築」をキーワードに「棚田保全と中山間地域活性化」をみなさんとともに考えたいと思います。

参加費 会員および学生は無料 一般参加者は資料代 500円

懇親会 フェニックス (地下鉄東西線早稲田駅より徒歩2分 参加費 3,000円)

会場案内

1. 電車利用の場合

JR山手線または西武新宿線 高田馬場駅より徒歩 20分

地下鉄東西線 早稲田駅より徒歩 10分

地下鉄副都心線 西早稲田駅より徒歩 17分

2. バス利用の場合

JR山手線または西武新宿線 高田馬場駅より早大正門行

西早稲田または早大正門下車 徒歩 3分

お問い合わせ 棚田学会事務局 E-mail: tanadagakkai@gmail.com FAX: 042-385-1180

参加申し込み 氏名、連絡先を明記のうえ、E-mail または FAX でお申し込みください

談話会参加申し込み

談話会 懇親会

(希望事項にをお入れください)

名前 _____ 会員 学生 一般

連絡先 〒 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____